第8回　日本語スピーチ大会　2012

場所：かながわ県民センター　301号室

開催日：2012年11月25日(日)

スピーチ草稿集

テーマ：故郷（ふるさと）と私（わたし）

氏　名	出身国・都市・町	所　　属
バスネット・エソダ	ネパール・カトマンズ州・バドバンジャン	横浜国立大学
シミ・タンビ	インド・デリー	横浜国立大学
姜　帆	中国・遼寧省・鉄嶺	神奈川県立保健福祉大学
イン・ミン・パパ	ﾐｬﾝﾏｰ・ﾔﾝｺﾞﾝ	横浜国立大学
劉　思佳	中国・吉林省・長春	横浜国立大学
ボーアマル・ハッサン	モロッコ・モハンメディヤ	慶応義塾大学
ﾕﾘｱ・ｿﾌｨｰﾅ・三森	ロシア・チェリャビンクス	社会人・主婦

ＮＰＯ法人　留学生と語り合う会　（RKK）

横浜市市民活動推進ファンド助成事業

第8回 日本語 スピーチ 大 会
留学生と
合う会

日本人と留学生の交流会

バスネット・エソダ　(ネパール・カトマンズ州・バドバンジャン出身)
横浜国立大学

サブタイトル：「お釈迦様の生誕地がある国、ネパール」

皆さまこんにちは。私はネパールから留学に来ています、エソダ・バスネットと申します。
私の母国ネパールは、世界一高い山エベレストがある国、またはお釈迦さまの誕生地、
ルンビニがある国として知られています。

　私はネパールの首都カトマンズより西側にあるバドバンジャンという小さな村に生まれ育ちました。私の故郷は、山に囲まれ、大自然で恵まれています。目の前に立つ山の林から流れて来る滝の水に故郷の人々が生活しています。

　村の女性たちが毎日、朝早くから水場に集まり、沐浴します。そして、神様やご先祖さまに備えるお水と調理に必要とするお水を運んでそれぞれの家に帰ります。このように私の故郷の一日が始まります。

　私の村では、お互いを助け合うことは、生活の一部です。村の全員が農業をやっており、田植えから収穫まで、その他の仕事もすべて順番に手伝うのです。

　手伝いの報酬はいくらだと思いますか？実はお金ではなく、手伝ってくれた人の田植えや収穫に自分も手伝いに行くことです。

　これに限らず、例えばある家のお母さんが忙しい日に、近所の人がそのお母さんの子どもの面倒を見ることもあります。

　私は日本に来て約半年くらい経っていたある日、電車に乗ってアルバイトに行く途中でした。電車の中で 2 人の可愛い小学生がいました。これは声かけてみたいなと、せっかく覚えた日本語で、「可愛いね。お名前はなんですか」と聞いたら、２人がすごく驚いて、名前は教えられませんと逃げられた。

　私、日本人から見てそんなに怖い顔しているのかなと？カルチャーショックで悩んだこともあります。

　私の村では近所の人たちがいつでも誰のうちでも、事前連絡もしないで、許可なし入ります。ドアに鍵なんかかかっていません。そして、紅茶飲んだり、お話したり、お手伝いしたりするのが、何にも珍しくありません。

　皆さま、1000 人以上来る、結婚式って参加したことがことありますか？
実は私の村の結婚式には村の全員、親戚の全員が参加します。普段ネパールの男性は調理しないのですが、結婚式に限り、各家の男性が一人ずつ必ず手伝いに行きます。結婚式に新郎が新婦を迎えに行くときはバス 3 台も 4 台も乗って、一緒に行きます。そして、新婦を連れて帰る途中に村の近くまできたら、バスから降り、無事につれてきたよって、全員で踊りながらうちまで帰ります。その踊りがまた激しいですよ。

　一方、村で何か大変なことがあった時も全員の役割があります。ネパールは人が亡くなった時に 13 日間も行事を行います。悲しみが起きたうちの人たちは 13 日間、普段着ではなく、白い布で生活します。また、日常的な仕事をすることができません。そんな時も村の人々が、会いに来たり、話したり、長い 13 日間の行事終えるのに付き合ってくれます。

　つまり、幸せを全員で分かち合う。悲しい時には、全員で助け合う、これが私の故郷の当り前です。

　私の村の子どもたちの遊びはなんだと思いますか？葉っぱを結んで、足で蹴って遊びます。また、木に登ったり、牛やヤギなど、家畜の面倒見ながら、友達同士で振り合いながら、自然とともに遊ぶのが一般的です。ビデオゲームやパソコンなんか誰も持っていません。

　私は 2 年前ネパールに帰った時、買い物に市場に行きました。帰りのバスがとても混んでいました。私は荷物たくさん持っていて、座る席がなかったため、立っていました。その時に目の前の席に座っている、

女子高校生に、荷物を持ちますと言われました。持ちましょうか？ではなくて、持ちますと言われた。私は驚きました。なんで人の荷物なんか勝手に持つの？そしたら、思い出した、あ！そうだ！ここは荷物たくさん持って立っている人の荷物を持ってあげることが普通のことでした。

ネパールのバスでは、赤ちゃんを抱いているお母さんに席を譲るのではなくて、子どもを抱いてあげるが当たり前ですし、もちろん年配の方々に席を譲ることも普通のことです。私は日本で、全然知らない人の子ども抱きましょうかといきなりいうとどうなるのかな？

ある日、電車の中で年配の方に、どうぞ座ってくださいと席を譲ろうとしたとき、大丈夫です。まだ元気ですのでと、厳しく言われたこともあります。あれ以来、席をいきなり譲るのではなく、しばらく様子を見て、声かけてもいいのかなと思った方にだけ声かけるようにしています。

先ほども少し申し上げましたが、ネパールは世界一高い山、エベレストがある国として世界中に知られています。標高は 8848mt です。世界には標高 8000mt 超える山が 14 峰ありまして、その内の 8 峰はネパールにあります。人々は 4000mt まで住んでいます。日本の富士山の高さ以上のところまで、人々が生活しています。そこに住んでいる子どもたちに、飛行機はどこに飛びますかと聞いてみると、飛行機が下に飛びますと答えます。

私は留学に来る前に、山なんか何も思っていませんでした。だって目の前に毎日山があるでしょう。でも昨年、ネパールに帰った時、山を見てきれい、きれいと感動しながら、写真撮ったら、私の妹にお姉ちゃん、君、日本人になったね。私はいいけど、村のみんなは驚くので、写真撮りすぎるのを辞めてと言われた。

私は日本語学校に行く、一日目、学生寮から駅まで歩いたらみんな走っていました。
あれ！今日なんか特別なことがあるのかな？と思ったら、毎日のことでした。

私の故郷は独自の特徴があります。人々が穏やかで、のんびりした生活をしています。村から都市まで行くバスの時刻表も、ないし、バスが来るまで、隣の人と語り合いながらずっと待っています。その日にバスが来たらラッキー、来なかったら、しょうがない。

この写真を見てください。ネパールのお札です。お札によってとてもカラフルでしょうね？なぜだとも思います？実は、ネパールでは字の読み書きできる人が少ないです。

国のデータを見ますと、ネパールの識字率は約 59%のみです。中でも女性の数が圧倒的に少ないです。

実は私の故郷に足りないこともたくさんあります。
私の村の全員が私みたいに、学校に通って、外国に留学に行くことはありません。私は子どもの頃に日本人と話す機会がありまして、日本という国に憧れました。そして、絶対日本に行くと決断し、両親に何度もお願いして、やっと留学に来られたのです。

しかし、私の村には学校一つだけあります。隣の村、その隣の村から子どもたちが 1 時間も 2 時間もかけて学校に通っています。校舎が小さいため、青空の下で授業行うことがありますし、天気の悪い日は休みになることもあります。

ネパールは日本のように義務教育がないので、全員学校行ってことはないです。しかし、みんなそれぞれ夢があります。医者になりたい、エンジニアになりたい。先生になって村の学校で教えたい、学校を建てたい、このような夢を持って小さい学校でも勉強を一所懸命がんばっています。

私にも夢があります。私は今横浜国立大学の大学院で、「開発協力」を学んでいます。

将来はネパールの女性や子供たちのために働きたいです。
私には、二つ故郷があります。第一はネパールのバドバンジャン村です。そして、第二の故郷は日本です。住めば都。このことわざはネパールにもあります。

そういう思いで、昨年の東日本大震災後に、東北の避難所と仮設住宅に、在日ネパール人の団体と一緒に炊き出しの手伝いに行っています。私はネパールのダンスができますので、この 11 月には、南三陸町の

方々と一緒にダンスワークショップをやりました。皆さんが喜んでくれて本当に幸せでした。

私はあまり大きなことはできないですが、自分の語学力と日本に留学して、学んだ知識と経験を活かして、私の第一の故郷ネパールと第二の故郷、日本の架け橋になるよう今後とも、私にできることを一所懸命頑張ります。ご静聴、ありがとうございました。

シミ・タンビ　（インド・デリー出身）
横浜国立大学

サブテーマ：「日本の女性に伝えたいこと」

インドはどういう国だろうか

一年たった日本の生活で気付いたのは、日本とインドの女性の目標の違いです。そこで今日は次の二つの点についてお話ししたいと思います。

１．インドと日本の女性の違い。

２．その違いの理由。

インドと日本の女性の違い

先ずは、日本では子供が生まれてから仕事をやめる女性が多いです。一方、デリーの女性にとって仕事と家庭を両立して支えていくのは当然なことです。例えば私の父は転勤でいつも家にいなかったので、母は一人で仕事と家族の両方を支えていました。１９９０年代の首都デリーの平均的な家庭の母にとってはそんな生き方は当たり前だったと思います。

つぎ、近年インドでは女性の社会的な役割や地位が高くなりつつあります。インドの 前大統領も女性だったし、現在 政党の党首 と衆議員議長も女性です。女性が官僚になることも珍しいことではありません。しかしながら、日本の女性はそういう地位に付くのは珍しいです。

日本の若者と話すと、短期間留学以外はあまり冒険したくないということが分かります。一方、デリーの若者を見ると、将来国ために何かしたいという考えが強いです。一例として、私の大学では女性たちは学生自治会に参加して社会の福祉のためにいろいろな活躍をしました。

その違いの理由

まずの理由は、若者の考え方についてです。日本は発展した国で、物質的に豊かな国ですから、今の若者は現状に満足しています。あまり冒険しなくて自分の人生を支えていけばいいではないかという考えになるかもしれません。

歴史的に見ると、日本の社会では女性はいい妻いい母となるように教育してきました。その考え方は今も続いているのではないでしょうか。例として、最近、日本の政治家が女性は子どもを産む機械という表現をして世界中から非難されました。

今月始め日本で開かれたアイエムエフの年次総会のアイエムエフワーキングレポートの中で、日本の経済発展のために女性がもっともっと働けるようにすべきであるという提言がありました。これは大変重要な示唆だと思います。

まとめとして、日本の女性は決して才能が低いわけではありません。日本の女性がか弱いイメージをふっしょくして将来の子供たちに新しいロールモデルになって欲しいです。ですから今日本の女性に伝えたいこと自信を持って、目標を高くしていただきたいということです。

姜帆　（中国・遼寧省・鉄嶺出身）
神奈川県立保健福祉大学

私は中国遼寧省鉄嶺市の出身です。３年前の 2009 年 9 月 17 日に日本に参りました。
日本に来て半年後、神奈川県立保健福祉大学に入学しました。趣味は旅行と登山です。

この機会を借りて私の故郷の遼寧省鉄嶺市を皆様に紹介します。

鉄嶺市の人口は約 305 万人です。農業が中心で、大豆やお米やトウモロコシなどを生産しています。中国には 56 の民族がおりますが、鉄嶺市には 31 の少数民族が住んでおり、私の民族は満族です。

鉄嶺市は小さい町ですが、中国では有名な都市になっています。なぜかというと中国で大変人気のあるお笑い芸人の趙本山の故郷だからです。彼は多くの中国人が楽しみにしている大晦日のテレビ番組「春節交歓会」という番組に鉄嶺市を取り上げたからです。彼は 18 年間連続出演しトップの人気を得ています。毎年、多くの中国人が彼のテレビ出演を楽しみに首を長くして待っています。彼が出演しないと面白くないとよく言われています。国民に愛されているユーモアが溢れる彼のおかげで、鉄嶺市が有名になりました。

また、2010 年に上海で万国博覧会が開催された時は、鉄嶺市が生態系を大切にして鳥と自然が共生できる環境、人工的に沼地などを作っているエコタウンの唯一代表として選ばれました。このため、鉄嶺市は中国から世界へと向かって進んでいます。経済的には豊かではありませんが、私は、心の豊かな町、自然の美しい町に生まれたことを誇りに思っています。

このように豊かな町ですが、好奇心旺盛であった私は外の世界を見てみたかったので、遼寧大学を卒業して日本に参りました。遼寧大学の専攻は日本語でしたので、日本語を活かしたい気持ちもありました。

小さい時から日本のアニメ、「セーラ・ムーン」「ドラえもん」「スラムダンク」「名探偵コナン」等を観て育ってきました。吹き替えは中国語でしたので、日本語版のものを理解できたらいいなあと思って日本語専攻を選びました。しかしながら、日本語を勉強する道は平たんではありませんでした。私のように大学に入ってから初めて日本語を学ぶ者や中学から日本語を勉強してきた学生もおりました。その格差がストレスとなって、顔中ニキビだらけになり、食欲もなくなりました。自分の専攻を変えようかなと迷っている時に、日本語担当の先生は優しく私を励ましてくれました。先生の励ましのおかげで、大学では他の学生より１年ほど早く日本語１級を獲得することができました。

日本に来てアニメーションよりも、日本人の素質や文化や習慣がとても魅力的だと思うようになりました。綺麗な町、青空、美味しい空気……なにもかも美しく感じます。
それにもまして日本人からの温かさを感じています。この３年間は、周りの日本人の方々に支えられてきたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

もっと日本や日本人について理解と絆を深め、両国の友好の懸け橋として貢献できるような人材になります。

さらに、これからも多くの知識を吸収し、自分の世界を広げられる国際人になりたいです。大学卒業後は、日本での就職を考えております。

また、将来、自分の両親にも素晴らしい日本を見てもらいたいと思っております。

私は心から、私を育ててくれた小さな町――鉄嶺市を愛しています。　皆さま、人が素朴な町、自然の生態系に気を遣っている町である私の故郷に、ぜひおいでください。ありがとうございました。

インミンパパ　（ミャンマー・ヤンゴン出身）
横浜国立大学

サブタイトル：　「故郷–河」

皆さん、こんにちわ！

インミンパパと申します。ミャンマーから昨年４月に参りました。現在横浜国立大学の修士２年生です。よろしくおねがいいたします。

皆さんにも　それぞれ生まれ育った故郷をおもちだと思います。故郷のことを考えると心が暖かくなって、大きな都市、小さい町、そして村など色々思い出します。でも今日私がお話ししたい故郷は都市ではない　町でもない、村でもないんです。皆さん、どこだと思いますか。実は河なんです。だから、私はそのことについてご紹介したいと思います。

それは私が９歳の時のことです。母と一緒にヤンゴンからパテェインへ船で出かけました。その船の名前はウエーバギでした。ヤンゴンからパテェインまで１５時間かかります。時間かかっても船内がひろくて遊びも出来るし、外の景色もきれいにみえるし、船の食事もおいしいし、友達も作れるので私は船旅が好きでした。

船の中では皆さんはそれぞれ外の景色を見たり写真を取ったり話しをたりしてとても楽しそうに見えました。

でも到着時刻の１時間前　急に天気が悪くなって黒い雲がたくさん出てきました。皆自分の席に戻って船内は静かになりました。そのとき、びっくりするような大な声が聞こえました。私たちのとなりの席にいた妊婦さんの声だったのです。母が周りの人たちに赤ちゃんが生まれそうですと伝えました。皆お手伝いをしたいけれどとっさにどうするかがわからなかった。外は大雨が降り始めていました。幸いにもお客さんの中にお医者さんが乗り合わせていました。よかった！！皆とても心配してカーテンを作ったり、お湯をじゅんびしたりして手伝ってくれました。船の中はまるで病院になったようでした。私も母に言われ船長さんを呼びに行きました。到着時刻１５分前に男の赤ちゃんが無事誕生しました。赤ちゃんのうぶ声をきき皆とても安心し幸せになりました。赤ちゃんとお母さんも元気で　そばで見守りながら心配していたお父さんも笑顔が戻っていました。赤ちゃんの名前は皆で考えて船の名前をもらい‘ウエーバギ’と決めました。

パテェインに到着すると病院からの迎えの車がありウエーバギちゃんとお母さんは先生と一緒に車に乗りそのまま病院にむかいました。その時パテェインの天気もすっかり回復しウエーバギちゃんの故郷–河をみていると普段よりさらにきれいな河だなと思いました。

以上です。御静聴有りがとうございました。

劉思佳　（中国・吉林省・長春出身）
横浜国立大学

皆さん、こんにちは。劉思佳と申します。

私の故郷は中国の東北の方にあります。吉林省長春市というところです。

私は長春に生まれて、長春で育って、そして 18 才大学へ進学するまでずっと長春に住んでいました。

私は長春という都市が大好きです。そして、この都市の魅力を皆さんにお伝えさせていただきたいです。

故郷の季節ははっきりしています。「春· 夏· 秋· 冬」と 4 回の季節を感じられます。

春の故郷、草花が一斉に咲き乱れ、ツバメたちも暖かい南方から戻ってきます。生き生きした生命力を感じられます。

夏の故郷、猛暑の日としても、たまに爽やかな風が吹いて、ただちに気分爽快になります。

秋の故郷、静かな夜に、家族と一緒に晩御飯を食べながら、まん丸の月を見るのは私の最高の思い出です。

冬の故郷、白くて大きな雪の華は空から落ちて、一面の銀世界が、まるで人々の心まで浄化できると思うのです。

故郷の一年間、春· 夏· 秋· 冬四つの季節を繰り返し、間断なく美しさが続きます。

寒い北国の気候で生きている故郷の人たちはほぼお酒が強くて、辛いものも大好きです。
また、お酒が強いせいかもしれませんが、故郷の人たちの性格もとても快活、素朴です。

故郷の土地に踏み込んだとたんに、寒い天気と正反対な人々の情熱の熱さを感じられると思うのです。

話したいなら話す、話したくないなら黙ってもいい、故郷にいると、くだらない建前の言葉はいらない、自分の思い通りに行動すれば結構です。

それで、2007 年、中国国家統計局と中国中央テレビ局の調査によると、長春市は全国で一番人情味がある都市と評定されました。

そして、2008 年, 2009 年と 2010 年連続三年間は中国で一番幸福感がある都市と評定されました。大声で話したり、大声で笑ったり、純朴で楽天的なふるさとの人々が心地よい、自由自在な生き場所を作りました。ですから、18 年間故郷で育った私もこのような長春気質を受け継いでいるかもしれませんね。

故郷の気候と人々の性格を話しましたが、次は故郷の美食を皆さんに紹介させていただきたいです。

餃子は中国の伝統的な食べ物として、故郷でも一番人気があります。餃子の専門店は言うまでもなく、ふつうのレストランとしても餃子を売っています。もともと大晦日の夜に餃子を食べるのは中国北の方の伝統ですが、故郷の人々はとても餃子を愛するので、一年中ほとんど餃子を食べる人もかなり多いです。そのお陰で、ふるさとの餃子の作り方も多種類になっております。焼き餃子、水餃子、蒸し餃子までもあります。作り方によって、味も、匂いも全然違います。焼き餃子や水餃子を食べた方がここではおおいでしょうから、紹介しませんが、蒸し餃子は珍しいから、ここでちょっと話しましょう。蒸し餃子は饅頭と同じように蒸しますが、味わいがちょっと違いますね。饅頭のような柔らかい口当たりではなくて、もっちもちで透明感があり、口当たりの良い食べ物です。

故郷でもう一つすごく人気がある食べ物は串焼きです。昔の串焼きの種類はとても単一で、羊の肉しかありません。10 年前から、種類がだんだん多くになりました。今の串焼きは羊の肉、鶏肉、牛肉のような肉類だけではなく、きのこ、にらなどの野菜もあります。種類も 30 種類以上を超えました。猛暑の夜、屋

台の周りは何十人も座れる椅子や机を備え、人々はビールを飲んで、話しながら、美味しい串焼きを食べます。冬になると、屋台の中に入って、ストーブの側で、焼酎とかを飲んで、串焼きを食べる人も結構多いです。お酒と串焼きは本当に最高だと思うのです。今考えただけでも、生唾が出てきそうです。

故郷の人たちは伝統的な食べ物が好きと同じように、むかしながらの建物や昔の風景もとても愛着があり、ずっと守っています。ここで、その中の一つとして路面電車について少し話したいです。今の中国において、路面電車が運転している都市は七つしかありません。長春はその中の一つとして、1941 年からずっと路面電車を使っています。今の路面電車の線路は一つしか残ってませんが、経由する観光地はとてもおおいです。私はいつも考えていますが、たとえ昔の人や建物がなくなっても、この路面電車を見ると、多少昔の人々と近づいたような気がします。長春が守るのは路面電車だけではなく、昔の光景も一緒に守っていると思っています。

以上紹介したのは私の故郷——中国東北にある長春市です。

私の故郷は一流な大都市とは言えません。お金持ちの人が多いとも言えません。しかし、長春はほかの大都市のように都市開発の浪を余り受けずに、独自の価値観で長春の将来を決めようとしています。それは伝統を生かし、それを継承するということです。故郷は自分の意志で頑張っています。故郷で住んでいる人々も楽しんで生きています。幸せはお金だけでは決められません。今の長春市がそれを証明してくれています。私はこのような故郷が大好きです。皆さんも私の故郷に興味を持っていただけましたか？

皆さん、ご清聴有難うございました。

ル・ハッサン　（モロッコ・モハンメディア出身）
慶応義塾大学

こんにちは、はじめまして。私はモロッコ出身のボーアマル・ハッサンと申します。今年４月から日本に留学して、慶応義塾大学大学院政策メディア研究科に所属しています。今三田キャンパスで日本語を勉強し、来年進学したいと考えています。日本語の勉強を始めたのは２００５年ハッサン二世大学の 3 年生でした。当時私はイスラム学を専攻していましたが、ある日日本語教室の前に貼ってあったポスターの文字に興味を持ちました。最初は日本語はどんな言葉かだけを知りたくて、始めたのですが、その後、だんだん夢中になって、まじめに日本語という船に乗って漕ぎ出しました。

2008 年に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの奥田敦教授の研究室によって行われたアラブ人学生歓迎プログラムに参加して、その時から、日本に留学したいと思うようになりました。今その夢がようやく実現しました。

次にモロッコについて紹介します。

モロッコ王国はアフリカ北端に位置する立憲君主制国家です。フランスの植民地でしたが、1956 年 3 月 2 日に独立を勝ち取りました。しかし、フランスの影響は大きく、今でもフランス語は子供のころから教えられていて就職活動にはとても重要です。

次に経済についてです。大西洋と地中海に面しているため漁業が盛んです。また、農業は中心的な地位を占めており、観光業も重要になってきています。

モロッコの人口は約 3 千２百万人です。アラビア語とベルベル語が公用語です。国民の大半は学校教育で正則アラビア語を学習しつつも、日常生活ではモロッコ特有のアラビア語方言を話しています。

次に食事について紹介します。主なモロッコ料理としてはクスクス、タジン、ハリーラ、アッチァイなどがあります。
モロッコの大きな街カサブランカについて紹介します。
カサブランカは、モロッコ最大の都市で産業の中心地でもあります。世界最大級の港からは、直接大西洋に出ることができます。おすすめの場所は、たとえば、ハッサン 2 世のモスクなどです。
街の一番の自慢は、海に面していることです。美しい日没をみることができますし、海で泳いだり、波の音を聴いたり、たまにする釣りも楽しいです。
また、私は果物のジュースが何よりも好きです。パナシェとよばれています。
それは、いろいろな果物を混ぜて、オレンジジュースやミルクを加えるジュースです。味がいつも違うので、楽しみです。
次にアラブ民衆革命について、私の意見を少し述べたいと思います。この問題はアラブの角度からだけでは、見ることはできないと思います。
私は、アラブ人としてより、ムスリムとしてそのことを見る必要があると考えます。
ムスリムとして、アッラーを信じて、預言者ムハンマドの教えを見習わなければなりませんし、その尺度に即して、考えています。
デモに参加して、混乱をまねいてはいけないと思います。
アラブ諸国の元の政府は正しくないと思いますが、デモによる混乱なども正しい答えではないと思います。
そもそも、革命は状況を改善するというよりも、かえって問題を悪化させる可能性があると思います。
たとえば、日本は革命をおこさなくてもよくできています。
また、ヨーロッパの発展に革命は必要なかったという説もあります。
しかし、自分の権利を求めるために、混乱を起こさず、整然としたデモをすることに反対しているわけではないです。

モロッコでも少しアラブの春の影響がありました。モロッコの各地で民主化を求めて、デモが起こりました。そのお陰で、新しい憲法ができ、これまで国王が行っていた多くのことが首相の権限になりました。
それから、新たに選挙を行って、新しい議員を選び、多数党の党首が首相になることになりました。
これらの変革のお陰で、今はデモは少なくなり、市民は平穏に暮らしています。
これまでの改革は重要だと思いますが、まだ十分だとは言えません。
モロッコが良い国になりますように私にも責任があると感じます。
ですから、日本での経験が役に立てば良いと考えています。
私の発表は以上です。ご静聴ありがとうございました。

ユリア・ソフィーナ・三森　（ロシア・チェリャビンスク出身）
社会人・主婦

サブタイトル：「ロシアは日本のとなりの国です」

みなさん　こんにちは
ロシアと日本は近りんしょ国ですが、お互いについて何を知っていますか？
ロシアについて何か知っていますか？
私が日本へ来てから、いつも日本人は私に「どこから来ましたか？」と聞きます。
「ロシアから来ました」と言うと
みんなは、「ロシアは寒いでしょう？」と聞いてきます。
「冬の時には、何をしますか？」
「仕事に行くんですか？」
と聞いてきます。
みなさんはロシアのことを寒いだけの国だと思っていませんか？
私はロシアのチェリャビンスク市から来ました。
チェリャビンスク市はモスクワから東へ２時間位かかります。
チェリャビンスク市の周りには、山や森や湖などが沢山ある、とてもきれいな所だと思います。
たしかに、チェリャビンスクの冬は、よく－３０℃位になります。しかし雪が降ったらけしきはすてきになります。
冬には楽しいことが沢山出来ます。
雪だるまも作れるし、スケートも出来るし、スキーも出来るし、ホッケーも出来るし、とても楽しい季節です。
それに外で、さんぽも楽しめます。
ロシアでは、家にセントラルヒーティングがありますので、とてもあたたかいです。
寒い外から家に帰ると、とてもあたたかく気持ちがいいのです。
日本に来てからは、私はちょっと困りました。
日本の家はセントラルヒーティングじゃありませんね？
みなさんはどうやって、寒い冬をあたたくしていますか？
それでは、ロシアの季節について少し話したいと思います。
日本にはしきがはっきりしていますね？
ロシアもしきがありますが、そんなにハッキリとはしていないと思います。
４月には春がはじまります。ロシアでは「春のにおい」という言葉があります。
５月になると、そのにおいは、さいているリンゴの花のにおいです。
ロシア人は日本の桜についてよく知っています。
でもロシアでは花見というしゅうかんがありません。
それは残念だと思います。
私はさくらのきせつを楽しみにしています。
ロシアにはあついなつもあります。私のこきょうは今年のなつとてもあつかったです。
８月には+３５度になりました。あつかったときみんなはみずうみへ泳ぎに行きました。
ですからみなさんロシアはさむいだけの国だと思わないでください。
昔から秋はしゅうかくの季節です。冬は長くてさむいので何も植えません。昔の人は生きるために食べ物

を準備しなければいけませんでした。
その時からそのしゅうかんがあります。
たとえば、秋になっていろいろな果物がたくさんとれます。
もちろんしんせんな果物をたくさん食べますが、冬を乗り越えるために果物を使ってジャムなどを作ります。
そして野菜を使ってピクルスを作ります。
冬はいろいろな料理もあります。
ボルシチとかペリメニとかパイとか肉料理などがあります。
それでは日本での生活と私の経験について少し話したいと思います。
来日する前に日本人は毎日魚とご飯は食べるが、肉と野菜は食べないと思っていましたが私は間違っていると思いました。
日本料理にはいろいろな料理が沢山ありますね？
お寿司とかしゃぶしゃぶとかすき焼きとか親子丼等があります。
私はみんな好きです。
日本料理はとても美味しいと思います。
ところで、日本料理とロシア料理には同じ料理があります。
一度主人は日本料理の作り方について話しました。
キャベツの葉の中にひき肉と野菜を入れて包んで鍋で煮ます。
それがロールキャベツだといいました。
わたしはちょっとわかりませんでしたが、その料理の写真を見たときに
これは、ロシア料理のガルブツィと同じものでした。
材料と作り方はだいたい同じです。
とても面白いことだと思います。
みなさん　日本とロシアは近隣諸国だと思いませんか？
そして共通のことがいろいろあります。
ですから、私たちはお互いの文化と習慣に興味を持っていろいろなことを勉強していきましょう！！

私たちは：

留学生が留学を終了したとき、振り返って、日本に来てよかったと回想してもらえるよう、できる範囲で留学生を支援します。このことにより、親日家が増えることを期待します。

私たちのモットーは：

みんなで
少しずつ会の
運営に参加しながら
留学生がハッピーになるよう
できる範囲で
楽しくやることです。

NPO法人　留学生と語り合う会　（RKK）

Ryugakusei to Katariau Kai (RKK)

Relationship and Kindness are the Kings of Peace

Friendship Association for International Students

and Japanese Volunteers